



ZENJINKAI GROUP

2025 WINTER
No.244

ふれあい



今月の表紙：鶴岡八幡宮(鎌倉市)

PICK UP!

「エコー下穿孔」導入の
取り組みについて



with Best Hospitality

- 年頭にあたって
- 栄養と食事のお話
- Home Care
～よりよい透析ライフのための豆知識
- スタッフ&おしごと紹介
- わたしの自慢
- News & Topics
- みんなの広場

年頭にあたって



明けましておめでとうございます。

本年も皆さまとともに新年を迎えられましたこと、心より感謝申し上げます。

善仁会グループは、1974年のクリニック開設以来、長きにわたり透析医療に取り組んでまいりました。これまでを振り返りますと、透析にかかわる治療や機器は確実に大幅な進化を遂げ、透析患者さまを取り巻く環境や生活も大きく改善されてまいりました。その流れの中にあって、私たちは「心のかよう医療・福祉を患者さま、お客さまへ」というスローガンを一貫して掲げ、医療や技術の進歩のような社会事象に加えて、誠意と情熱をもって患者さまと関わり、皆さまの心の満足を追求してまいりました。

さて、本年は巳年です。「巳」の字は蛇の姿を表し、蛇は脱皮を繰り返すことから古来より「再生」や「永遠」の象徴とされ、巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈されています。昨年50周年を迎えた善仁会グループは、次なる50年に向け、患者さまにより安心して快適な透析医療を提供するために、これまで培ってきた伝統を大切にしながらも、新たな飛躍の1年とすることを目指しております。

地域医療を担う医療機関として、患者さまをはじめ、地域の皆さま方から信頼され、ご満足いただける医療と福祉の提供に努め、関わるすべての方々が笑顔で健やかに、穏やかに過ごされるよう、職員一同、取り組んでまいります。

皆さまにとって本年が心安らかな一年でありますよう祈念いたしますとともに、今年も変わらぬご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



善仁会グループ

会長 千葉 哲男

PICK UP!

「エコー下穿刺」導入の取り組みについて

善仁会グループでは、透析患者さまにより安全で快適な透析治療を提供できますよう、「エコー下穿刺(エコーガイド下穿刺)」導入の取り組みを進めております。本号では、バスキュラーアクセスセンターの医師、臨床工学部の臨床工学技士より、その取り組みについて、ご紹介いたします。

「エコー下穿刺」を知っていますか？

横浜第一病院
診療部 末木 志奈



エコー下穿刺とは

「エコーガイド下穿刺」「エコー下穿刺」という言葉をご存じでしょうか？ 超音波診断装置を使用して、血管に針を刺す技術のことをいいます(図1)。血液透析療法は、医療材料や血液浄化装置の進化とともに、血管に針を刺す技術も進化を続けています。通常の穿刺は「ブラインド穿刺」といって、手元の感覚や視覚を元に針を刺していきます。多くの患者さまはこのブラインド穿刺で針を刺すことが可能です。しかし、血管が細い、血管が深く走行している、曲がっているような方で穿刺困難となっている場合や、シャント作製直後で血管が未発達、また穿刺の失敗に伴う腫れを避けたい場合には有効です。

しかし、エコー下穿刺は誰でもどこでも

すぐできるわけではありません。超音波装置が透析室にあること、また超音波装置に慣れる必要があります。超音波装置は近年急速に進化し、針を刺すことに特化した小型な装置(図2)が発売されました。超音波装置の小型化に成功した



図1 エコー下穿刺の様子

ことにより、穿刺での持ち運びが便利となり、エコー下穿刺のために患者さまをお待たせしてしまう時間の短縮が可能となりました。

ブラインド穿刺では触れる血管しか穿刺ができませんが、エコー下穿刺では触れづらい血管にも穿刺することが可能となり、穿刺範囲を広げることができるようになります。そのためシャント血管の瘤化を防ぎ、同一部位穿刺に伴う出血・感染のリスクを低下させシャントを長く使用することができます。

◎POCUSを行うことで、 ブラインド穿刺の際にも役に立つ

超音波装置は、エコー下穿刺のためだけに使用するわけではありません。よく触れるのになぜか針がひっかかると言われた経験はありませんか？ そのようなときは“POCUS (Point-of-care ultrasound)”が有効です。“POCUS”とは的を絞った短時間の超音波検査のことです。POCUSであれば、穿刺に特化した小型の超音波装置でも可能です。シャント血管の中には静脈弁という逆流防止弁がありますが、外から触れてもわかりません。穿刺する部分のみ超音波装置で血管内腔を確認し、穿刺を邪魔するものがあるかどうかをみて、ブラインド穿刺を行うだけで、穿刺ミスが減らすことができます。また、外から触れているだけだと、シャント血管(静脈)と動脈がわかりづらいことがあります。動脈へ間違っただけで穿刺してしまうと、針を抜いた直後に急激に腫れ、最悪の場合には出血を止めるために緊急手術が必要となります。POCUSで動脈と静脈を確認することで、動脈への誤穿刺をなくすることができます。

◎エコー下穿刺はストレスの 軽減につながる

穿刺は透析患者さまにとって、ストレスの上位項目に常に上がっています。それとともに穿刺するスタッフのストレスの上位にも常に上がっています。穿刺の失敗を減らすことは、お互いのストレス軽減になります。まだ超音波装置の台数も、エコー下穿刺ができるスタッフも限られていますが、当グループでは積極的に小型の超音波装置を導入し、それとともにエコー下穿刺ができるスタッフ教育を進めています。エコー下穿刺は通常の穿刺と刺す感覚が異なり、超音波装置の使い方も学ぶ必要があるため、当グループ内の専任の指導者が教育してから実臨床で行っています。エコー下穿刺を習熟したスタッフの穿刺成功率は99%といわれています。今後も患者さまの穿刺ストレスの軽減に向けて、より一層努力してまいります。

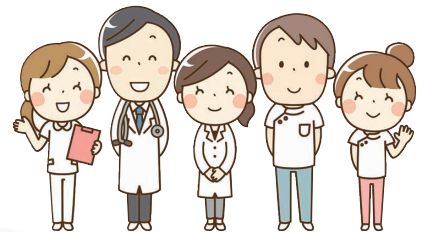


図2 超音波診断装置の小型化が進み、スマートフォンサイズでコードレスとなっている

エコー下穿刺 Q&A



Q1 エコー下穿刺を行うことによる
メリット・デメリットを教えてください

A1 エコー下穿刺を行うことで、
穿刺が難しい患者さまにとっては
穿刺ミスが減らすことが
可能となります。ブラインド穿刺が可能な
患者さまにとっては、どちらの穿刺を行っ
ても変わりありません。別途料金が発生
することはありません。

また穿刺範囲を広げることが可能とな
るため、血管の瘤化を防ぎ、現在使用して
いる血管を長く使用することができます。
現在使用している血管を長く使用するこ
とができると、長生きにつながることもあ
ります。

エコー下穿刺を行うことによる身体的
なデメリットはありません。しかしながら、
超音波装置の台数が限られているため、
エコー下穿刺が必要な患者さまが複数人
いる場合にはお待ちいただくことがありま
す。エコー下穿刺に習熟したスタッフの場
合は穿刺にかかる時間にはあまり違いは
ありませんが、エコー下穿刺初心者のス
タッフの場合には少し時間がかかること
もあります。エコー下穿刺ができるスタッ
フもまだ潤沢ではないため、毎回の透析
時にエコー下穿刺ができるスタッフがい
る状態ではないことはご了承ください。

Q2 同じところを刺した方が痛く
ないです。なぜ同じ場所に刺
してはいけないのですか？

A2 同一部位を穿刺していると、
皮膚が欠損してしまい、大きな
かさぶたになります(図3)。大
きなかさぶたの下は血管ですので、はがれ
ると血管から大量出血を起こします。残念
ながら年間何人も大量出血のため夜間救
急搬送となっています。このような大きな
かさぶたになると、皮膚が再生されること
はありませんので、シャントは閉じる必要
があります。また、同じ場所ばかり刺して
いると、浸出液が常に出ているため感染を
合併することがあります。すぐ下が血管の
ため、容易に細菌が全身に回り敗血症に
至ります。敗血症は命に係わる病気です。
そのようなことを起こさないためにも、穿
刺位置はずらしておく必要があります。で
すので、穿刺範囲が狭い患者さまにもエ
コー下穿刺は有効だといえます。



図3 複数の穿刺痕がつながって大きなかさぶたになる

エコー下穿刺導入の取り組み

吉祥寺あさひ病院
臨床工学部
臨床工学技士
技士長 柳町 竜徳



善仁会グループでは、超音波装置を用いた「エコーガイド下穿刺(以下、エコー下穿刺)」を導入し、グループ内全施設への普及に向け、取り組んでいます。エコー下穿刺導入にあたっては、各施設スタッフが横浜第一病院、吉祥寺あさひ病院にて、バスキュラーアクセスセンターの医師よりシャントに関する知識や、穿刺の仕組みについて、エコー下穿刺を行うために必要となる基礎知識を学ぶ機会を設けています。また、外来診察の様子やシャント作製からPTAの処置などの手術を見学し、患者さまとの関わりやシャント管理への向き合い方についてより専門的な知識を深めています。

そして最後に、研修生が手技をしっかりと習得しているかをバスキュラーアクセスセンターの医師が確認して、研修終了となります。



図1 研修時の血管モデルでの練習

機器の取り扱いやエコー下穿刺の手技については、「血管モデル」と呼ばれるさまざまな患者さまの血管を想定して作られた模型を用いて練習を行います(図1)。模型を用いた練習を何度も繰り返し行い、手技が定着したと判断された後、指導者立ちあいのもと、実際に患者さまにエコー下穿刺を行います。エコー下穿刺を実施した後は、手技の上達に向けた改善点についてフィードバックを行います。

この研修制度を導入してから現在までグループ内の約70%の施設でエコー下穿刺が可能となっています。研修については超音波装置が配置されている施設を対象としており、今後全施設にてエコー下穿刺ができるよう、超音波装置の配置を含め準備を進めております。現在、エコー下穿刺ができるスタッフは約160名、臨床工学技士だけでなく看護師も含め、研修を進めております。エコー下穿刺は患者さまに穿刺による苦痛が軽減するメリットがございますので、全施設でのエコー下穿刺が可能となるよう、今後も取り組んでまいります。



図2 エコー下穿刺の様子

エコー下穿刺 患者さまご体験談

透析と楽しい日々

西八王子腎クリニック
山川 香織 さま

透析歴2年



私は生後9カ月で腎臓の小児がんになり、両方の腎臓を半分以上切りとる手術を受けました。小学校3年生でタンパク尿が出てから、東京都立八王子小児病院、多摩医療センターの小児科と腎臓内科でお世話になっていました。3年前にシャント手術を受け、その1年後の28歳で八王子腎クリニックでの透析治療を開始しました。しかし、私の血管がほかの方よりとても細く、針を刺すのも大変な思いをしていました。そのため、腕にあざができたり、腫れ上がったりと大変な思いもしました。その後、紹介していただいた吉祥寺あさひ病院に1カ月ほど通い、「エコー下穿刺」を行うことになりました。そこで、エコー下穿刺ができるスタッフがいる西八王子腎クリニックに転院し、お蔭さまで現在は痛い思いをしなくて済んでいます。幸いにも今はエコーをしなくても刺せるようになりましたが、何かあればお任せできるという安心感もあります。

私はアーティストのコンサートに行くことが楽しみで、好きなアーティストの地方公演に行くこともあります。去年は、沖縄にも行き、現地の病院で旅行透析を受けるなど、積極的に出かけることができました。皆さまも楽しい日々を送っていただきたいと思います。



HAPPY NEW YEAR



寒い日が続き、鍋料理を食べる機会が増えていませんか？ 今は、ちゃんこ鍋・キムチ鍋・トマト鍋や豆乳鍋など、いろいろな鍋の素が売られています。

そこで、鍋料理を食べるときにお気をつけいただきたいポイントについて、ご説明いたします。

❁ 鍋の素の食塩量に注意

1人前の鍋の素には、食塩が2.5～5.0gも入っていることがあります。栄養成分表示を確認し、食塩量が少ない物を選びましょう。また、汁は飲まないようにすると減塩になります。

❁ 週末は控えましょう

週末は透析日が2日空いてしまうため、水分の多い鍋料理を控えましょう。少しでも水

分を減らすために、器に取り分けるときは、箸や穴あきのお玉を使用することをおすすめします。

❁ 白飯を食べましょう

肉・魚や野菜だけを食べると、食塩や水分、リン、カリウムなどを過剰にとってしまうだけでなく、エネルギー不足になりがちです。鍋料理をおかずに、白飯もしっかり食べましょう。

❁ シメは控えましょう

鍋の煮汁には水分や食塩が多く、カリウムも含まれているのでシメの雑炊や麺は控えたい方がよいでしょう。どうしても食べたいときは、煮る時間を短くし、お玉に軽く1杯までにしましょう。

❁ 加工品を避けましょう

ウインナーやちくわなどの加工品は、リンを多く含んでいるので控え、たんぱく質食品は肉・魚や豆腐などにしましょう。

❁ 鍋の素のカリウムやリンに注意

トマト鍋、豆乳鍋、クリーム鍋などには、カリウムやリンが多く含まれている可能性があるため、食べ過ぎに注意しましょう。





足元の冷え対策について

冬の寒い時期、慢性的な手足の冷えに悩まれている方も多いかと思えます。そこで、今回は「足元の冷え対策」について、ご紹介いたします。

●足元の冷え対策

長時間同じ姿勢でいたり、ベッドに横になっていると足元の血液循環が悪くなり、さらに透析中は、血液を体外循環させていますので、末梢の循環不全が起りやすく、冷たさを感じてしまいます。



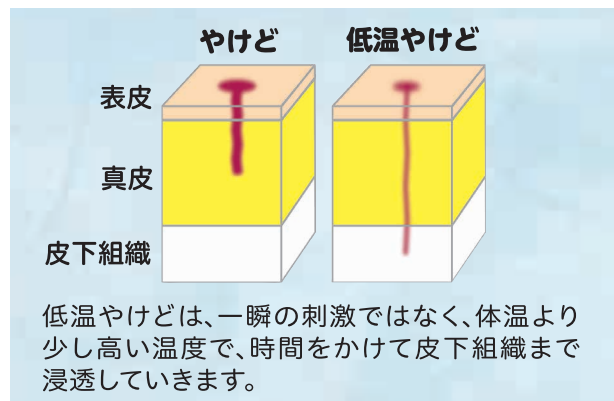
ひとつ目の対策として、まずは靴下やレッグウォーマーなどの活用をおすすめします。最近では、ウールやカシミアなどの自然素材のほか、特殊な繊維を使用して、自分の熱で暖かさを保つことができるものもあります。重ね履きをして冷気が入る隙間をつくらないこともポイントですが、締めつけは血流を悪くしますので注意しましょう。また、入浴などで十分に体を温めるのも大切です。入浴が無理な場合は、足浴などもお勧めです。ぬるま湯にゆっくり足を浸すことで、血行が促進され、冷えを解消することができます。足浴に入浴剤を加えると、香りや成分によってさらにリラックス効果が高まります。

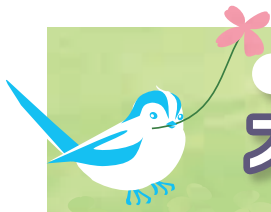
また血流が悪い原因のひとつに「筋肉量が少ない」ことがあげられます。筋肉量が少ないと運動による発熱や血流が少なくなり、冷えやすくなります。軽いストレッチや足のマッサージを行うことで、血行が促進され、冷えを緩和することができます。特にふくらはぎを意識的に動かすことで、心臓への血液の戻りがスムーズになり、全身の温かさを保ちやすくなります。

●低温やけどの危険性と対策について ～危ない！ 湯たんぽやカイロ！～

カイロや湯たんぽなどの温熱アイテムは、低温やけどのリスクを考慮する必要があります。低温やけどは、長時間にわたって皮膚が高温にさらされることで起こります。普通のやけどは70℃であれば約1秒でやけどになりますが、低温やけどは44℃で3～4時間、46℃では30分～1時間、50℃では2～3分かかけてゆっくり起きるといわれています。

体温より少し高い温度で気持ちがいいと思うような温度でも、長時間触れ続けていると皮膚の深い部分にまで影響を受け、見た目より重症になるのが「低温やけど」です。普通に使用しているときには、やけどになりそうもないホットカーペットやコタツでも低温やけどにつながる可能性があります。トイレの便座や携帯電話の充電器が熱くなって低温やけどにつながる危険もありますので、ご使用の際は気をつけてお使いください。





患者さま・ご家族の透析ライフをお支えする

スタッフ&おしごと紹介

Vol.3 臨床工学部



善仁会グループでは、さまざまな職種のスタッフが連携・協働し、皆さまが安心・安全な透析ライフをお過ごしいただけるよう努めております。グループ内の各施設では、さまざまな職種がさまざまなユニフォームを着ていて、「誰が」「何の職種で」「どんなことをしているのか」わかりづらいこともあるかと思えます。そこで、日ごろ皆さまをサポートさせていただくスタッフについて、ご紹介してまいります！

今回は、普段からみなさまにもなじみ深い臨床工学技士(CE: Clinical Engineer)について、ご紹介いたします。透析室などで紺色のユニフォームを着て働いているのが私たち臨床工学技士です。患者さまからは看護師と同じように、透析の際に穿刺や返血などの業務にあたっているスタッフというイメージでしょうか。臨床工学技士はそのほかにも、医療機器の保守点検・操作や、透析で使用する水の品質管理など、普段は患者さまの目に触れることのない仕事も行っています。

透析治療の際に「コンソール(透析用監視装置)」と呼ばれる機械を使用しますが、このコンソールの定期的な点検や部品交換、故障が生じた際には原因を特定し、修理を行ったりもします。また、透析中に患者さまに薬剤を投与する



コンソールの定期点検

ときに使用するシリンジポンプ、輸液ポンプ、心電計や心電図モニターをはじめ、体重計などさまざまな機器の点検も行っています。これらの機械に不具合が生じると患者さまの治療に影響をおよぼすため、安全に透析治療を実施できるように、どんな小さ

な異常にも気づくことができるように、細心の注意を払い、機械と向きあっています。

また、透析治療を行う際に必要となるのが大量の「水」です。水といってもただの水ではなく、患者さまの体内に入る品質を管理された水です。質の高い透析液の使用は、質の高い透析を実現する上で、とても重要です。この水の品質管理を行うのも、臨床工学技士の大事な仕事です。患者さまの体内に直接送られる水であるため、通常の水質管理基準よりさらに厳しい管理基準を設け、安全な水を患者さまにお届けしています。

患者さまにより良い透析を提供するために、医師や看護師など他部署との連携も欠かせません。患者さまの血液データを確認し、さらに効率よく透析を行うための治療条件を医師に提案したり、透析室にいる全職種のスタッフと情報共有を行い、課題の解決や改善方法を見つけるため話し合いを行っています。チーム医療を担う一員として、今後も患者さまに安心・安全な透析を提供するため、医療機器や医療技術・知識の習得に努めてまいります。



水質管理のため定期的にチェックを行っています



うちの施設の
すごい人!

わたしの自慢



「わたしの自慢」は、患者さまの趣味や特技など「ご自慢の事柄」について、ご紹介するコーナーです。好きなことや得意なこと、仕事を通して身につけたスキルや、趣味が高じてできるようになった特技、こんなことで表彰されましたなどとおきのエピソードを交えてご紹介いたします。



吉野町第一クリニック

S.H さま

透析歴2年

「わたしの自慢」がテーマとのことで、生まれてからこの80年、何があったかを振り返ってみました。20代から民謡、三味線を学び、大きなステージで仲間と演奏し楽しい思いをしました。しかし5年前にコロナが流行り、家元が亡くなられたことで自然に解散してからは、仲間と練習してきましたがそれも中止となりました。三味線の皮が切れていないかを確認しつつ弾いていますが、右手にシャントがあり、バチが長くて持てないのであまり長く弾く

ことができません。20代のときに、日本語でベートーベンの第9の合唱をオーケストラとあわせて100人で歌ったこともよい思い出です。

それから茶道を長いことお稽古してきましたので、着物も増えました。今は断捨離しなくてはと思いながらもなかなかできていません。

今は町会の仕事をしていますが、空き家が多くなり、また個人情報とやらで家主に連絡がとれず困惑しています。透析をして2年がたち、あと何年生きられるか不安にも思いますが、前向きに生きたいと思っております。



News & Topics



第46回 善仁会研究報告会

2024年11月17日(日)、5年ぶりの現地開催となる「第46回 善仁会研究報告会」をそごう横浜 新都市ホールにて開催いたしました。

今年は、例年よりさらに数多くの研究がなされ、善仁会グループの腎部門・健診部門、老人医療福祉部門のスタッフから計28演題が発表されました。質疑応答の場面では、研究成果を踏まえ、新たな課題の発見や今後の改善につながる部門・職種を超えた活発な質問・議論、意見交換が行われました。また、外部からの特別

講演として、慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科 林 香教授に「演題:超高齢社会におけるCKD治療の現在と未来」をご講演いただき、部門の枠を超えて、新たな知識を深める機会となりました。

研究報告会は、グループ内の各分野における課題や研究内容を、各部門、各施設、各職種で共有し、グループ全体の知識の深化を促す重要な機会です。今後も新しい知識の拡充と医療技術の向上をはかり、患者さま、お客さま、ご利用者さまへの質の高い医療サービスの提供に努めてまいります。



慶應義塾大学医学部
腎臓内分泌代謝内科 林 香 教授



大会長 吉村 吾志夫
(横浜第一病院 院長)



特別講演を熱心に聴講するグループ職員



自慢の一枚



福寿草



自宅にて
春を呼び込むおめでたい花で、元日草とも呼ばれています。

立川腎クリニック 服部 誠示さま

透析室 スタッフとの会話が 特效薬

(成瀬腎クリニック 岩本 健治さま)

透析川柳



「お写真」
「透析川柳」
募集!

「みんなの広場」では皆さまからの透析医療についてのご質問や、ご趣味やライフワーク、お取り組みなどのお写真、創作活動などの作品、そしてサラリーマン川柳ならぬ「透析川柳」のご投稿をお待ちしております。ふるってご応募ください!

- 投稿送付先：各施設スタッフに「ふれあい投稿」としてお渡しく下さい
※ご投稿いただいた作品は返却いたしかねます。ご了承ください



ペン&ペアン

冬の朝 寒さ忘れる 雪の富士 (和田山)
満天の 星空眺め 冬感ず (佐藤)

介護老人保健施設 ユーアイビラ

「透析患者さま対応」を特長とする老健施設です。



❖在宅復帰に向けたサポートプログラム
医学的管理の下、リハビリテーションに取り組むことで、ADLの維持・向上をめざします。透析入所やショートステイ、デイケアなどに対応しています。



❖心と体をケアするレクリエーション
お誕生日会、中庭でのガーデンカフェなど季節にあわせた行事で、お一人おひとりが「かけがえのない1日」をお過ごしいただけるよう努めています。

施設へのアクセス

JR青梅線「拝島駅」から徒歩20分
JR五日市線「熊川駅」から徒歩15分
〒197-0004 東京都福生市南田園1-10-3
TEL. 042-539-7122
(受付時間: 9:00~17:00)
※通所リハビリテーション(デイケア)の見学送迎サービスあり

下記の二次元バーコードを読み込むとお問い合わせフォームにアクセスいただけます。



施設見学も随時実施しておりますので、ご希望の方はお電話もしくはお問い合わせフォームよりご連絡の上、お気軽にご来所ください。